

市制 120 周年記念シティ・ミーティング（議会報告会／シティ・ミーティング概要）

【議会報告会】

○市立四日市病院に非常に性能の良い医療機器が導入されたと聞いたが、そうした情報を広く周知するべきではないか。市民の老後の安心にもつながるので、この場を借りてどのような機器が導入されたか教えてほしい。

⇒議員 高度ながん治療が可能となる高精度放射線治療機器や抗がん剤を効果的に投与するための化学療法設備の充実を図っている。

○市立四日市病院の駐車場が整備されたが、駐輪場の場所がわからず困っている。

⇒議員 駐輪場の場所がわかりにくいということについて、担当部局に伝え、改善を図りたい。

○子どもが急病になったとき、市立四日市病院の夜間の緊急外来にかかると、小児科の医師ではなく専門外の医師に診断してもらうことになる。夜間の緊急外来に小児科の医師を配置してもらうことはできないか。

⇒議員 すぐに回答できないため、ご意見として承り、政策課題として担当部局に伝える。

○父が市立四日市病院で亡くなった時に、医師から詳しい死因等を説明してもらえなかった。また、その際の医療費についても病院側の説明に一貫性がなかったことなどから、市立病院は信用できない。

⇒議員 個別の事案であるため、受付の用紙に記載いただければ、後日回答する。（※受付用紙への記載はなし）

【シティ・ミーティング】

○昨年の 12 月にはじめて一般質問を傍聴したが、傍聴者が少なく、市民の関心の低さがうかがえた。また、一般質問のやり取りでは、市の答弁は歯切れが悪く、議員も今一つ踏み込んだ質問をしていないように感じた。市の部局長は頻繁に異動があることから責任感が薄いと考えられるので、その分野に長く携わっている人物を部局長として起用すべきではないか。

⇒議員 傍聴者数は、多いときと少ないときの波がある。また、傍聴以外にも、テレビやインターネットを通じた議会映像の配信を行っており、議会当日でなくても、録画映像を市民の皆さまにご覧いただけるようにしている。今後も市議会に関心を持っていただけるよう努力していく。

⇒議員 一般質問には時間の制約があるため、執行部から答弁が予想できるときには質問を省略することがある。傍聴者にとってはわかりにくい面もあるので、質問の仕方などを改善して工夫したい。

⇒議員 一般質問は、時間内にまとめる必要があることから、事前に議員と担当部局と論点調整を行っている。一般質問で答弁することは責任重大なことであり、市の答弁者は責任があるからこそ、無責任な発言ができないという事情もある。委員会ではより活発に議論をしているので、是非傍聴していただきたい。

⇒議員 実際に傍聴に来ていただいたことで感じられた疑問であり、そのような意見をもとに議会改革を進め、市民により関心を持っていただけるようにしていきたいと考えている。多くの方に傍聴に来ていただき、さまざまな意見をいただきたい。

○市立四日市病院の審査をするためには、医療事故調査制度等の新たな制度や専門用語の知識が必要となる。市民の命に直接かかわることなので、議員にはしっかりと知識を身につけて審査をしてほしい。

⇒議員 議員によって得意分野が異なるが、市民に期待されるような審査ができるよう、努力していきたい。

○議員は市民の声をどのくらい聞いているのか。また、意見を議員に伝える方法がわからないので、市民センターに目安箱を設置する等、市民の意見を広く聴き取るための仕組みづくりを検討すべきである。

○市政報告会に来た人の意見だけを聞くのではなく、議員が様々な場所に赴き、市民の意見に耳を傾けることが重要である。

⇒議員 議員によっては市政報告会を開催しており、そのような場を活用して市民の声を聴くよう努めている。

⇒議員 定例月議会前に、議案に対する市民意見募集をインターネットを活用して行っている。

⇒議員 議員の電話番号を市議会ホームページに公開しているので、気軽にご相談いただ

きたい。

○市政報告会を本来の意味合いではなく、選挙のPRとして利用している議員もいるように感じる。また、市政報告会の実施を依頼しても、地盤に配慮して地元以外では実施しない議員が多いように思われるが、市議会議員は四日市市民の代表であり、地域を問わず市内各地で積極的に市民の意見をくみ取りに出向くべきである。

⇒議員 私ごとになるが、自分の場合は選挙運動とは関係なく、年2回文化会館で市政報告会を開催しており、そこでいただいた意見を集約し市政に反映するようにしている。以前、塩浜地区で市政報告会を行ったことがあるが、2名程度しか集まらなかった。市政報告会を開催するには多額の費用もかかることから、普段と異なる場所で実施することの難しさを感じたが、招いていただければ是非伺いたい。また、各常任委員会では定例月議会ごとに議会報告会を行っており、市内各地区で開催しているので、多くの方にご参加いただけるように周知していきたい。

○実際に足を運んで市民の意見を聞くように努力してほしい。また、議員には政策立案機能があるということだが、具体例を教えてほしい。さらに、議員には専門分野があるということだが、どの議員がどのような分野に精通しているのかを分かりやすく周知すれば、市民も相談しやすくなるのではないか。

⇒議員 例えば市立四日市病院については、議員は医者ではないが市立四日市病院の審査をしなければならない。その際は担当部局や専門家の話を聞き、政策的な判断を行っている。また、市の総合計画の成果を聞き取り、今後の市政に反映させるために勉強している。

○私の運営している幼稚園では食物アレルギーの子どもが5～6%おり、その中の2、3名は特に重度の症状を抱えている。そういった子どもにもアレルギー疾患対策基本法や障害者差別解消法に示されているように安心安全な生活が送れるようにしたいと考えているが、一方で市からの支援はなく、実現は困難である。園を対象とした補助があれば、増員等の対応が可能であるため、少数意見でもしっかりとくみ取って、対応を考えてほしい。

⇒議員 ご意見として承り、担当部局に伝える。